

令和元年度 第1回築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和元年11月18日(月) 午前11時00分開会

2 場 所 築上町役場築城支所 第4、5会議室

3 出席者

(構成員) 築上町長 新川 久三

教育委員会

教育長職務代理者 中村 ひろ子

委員 麥田 猛美

委員 折本 美佐子

教育長 久保 ひろみ

(構成員以外の出席者)

元島総務課長、野正学校教育課長、高尾生涯学習課参事

尾座本生涯学習課長補佐、岡部学校教育係長、出口学校管理係長

山下指導主事

(傍聴者) な し

午前11時00分開会

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

4 会議内容

(1) 開会

○学校教育課長(野正 修司君)

皆さん、こんにちは。

定刻になりましたので、令和元年度第1回築上町総合教育会議を開催します。

私は本日進行を務めます学校教育課長の野正です。よろしくお願いします。

会議の前に、11月1日付けで久保教育長が就任されましたので、出席者の自己紹介をお願いいたします。

【構成員、構成員以外の出席者、それぞれ自己紹介】

なお、茅田教育委員につきましては、欠席の連絡が入っておりますので、御報告させていただきます。

(2) 町長あいさつ

○学校教育課長（野正 修司君）

それでは、2番目の町長挨拶をお願いいたします。

○町長（新川 久三君）

皆さん、改めましてこんにちは。教育総合会議ということで、本来なら4月に開くべきだったんですけど、亀田教育長がちょうど入院、そしてまたちょっと体調が悪いということで、そうしたらもう他界されてしまい、とても残念でございます。さて新しい教育長ですが、もう本当に素晴らしい逸材であってですね、県教委に相談に行ったら、いいでしょうという話でございましたので、全て先生方の気質等も全部頭に入っていると思いますので。あと、素晴らしい教員を築上町に引っ張ってもらいたいと、それが私の願いでございますので、よろしくお願いします。

なお、この後施策については、学校教育課と生涯学習課のほうから発表してもらいますが、学校の統合という話が、議会のほうから学校のあり方委員会を再開せよという話が出てきていますけども、私の方針としては、小学校は10人未満にならないと統合の話は進めませんということで、ずっとこの方針は堅持してきております。しかし、一部保護者が子供たちが可哀想だと、このような話も若干聞いていますけど、私は直接聞いていないんですけど、人伝えにそういう話もあるということで、こういうのも実態を調査しながら、今後少人数校がいいのか、それとも統合して全て一緒にするのがいいのかと、そんな話もございまして。

それと、あと建替え。非常にやっぱり老朽化している。椎田小学校もこの前、築上町人権・「同和」教育研究会から、非常に傷んでいるということで、中学校の建てかえ計画が上がっているんですけども、小学校も一緒に、小中一貫でやるような検討をしたらどうですか、という提言もいただいているので、そういうのもちょっと検討しながら、椎田中学と椎田小学校の小中一貫という方法も、ちょっと今から皆さんで検討してもらえればありがたいかなと、このように考えているところでございまして。あとは、一応、両課の報告等の会議を始めさせていただきたいと

思います。よろしく申し上げます。

(3) 報告事項

○学校教育の取組について

○学校教育課長（野正 修司君）

ありがとうございました。続きまして、3番の報告事項に移りたいと思います。報告事項につきましては、学校教育課、生涯学習課それぞれの課において、取り組みを説明したいと思います。

まず、学校教育のほうから私が説明したいと思います。

お手元の資料の4ページをお開きください。まず、学校教育課の主な取り組みでございますが、学力向上のための取り組みの推進ということで、今年度も築上塾を実施しております。今年度で4年目になります。小学校4年生と中学校3年生でございます。小4につきましては、総勢66名、中3につきましては、84名の参加がっており、非常に皆さん熱心に勉強に取り組んでいると聞いております。

それから次に、個性や能力を伸ばす教育の充実ということで、県の加配教員や町雇用の教員を活用しまして、少人数指導、習熟度別の指導などに取り組んで、個別に指導ができるような体制を取って、行っているところでございます。

次に、家庭地域の教育力を高める支援体制の充実ということで、これはコミュニティスクールでございます。これも今年度で3年目になりまして、地域のほうにおいては、もうかなりコミュニティスクールの制度も浸透してきたようであろうかと思っております。また、8月には地域学校共同活動研修会ということで、教育事務所での研修会にも参加し、近隣の市町村の委員さんとかも意見を交換して、大変有意義であったというお話も伺っております。

また、今月には合同校区コミュニティスクール推進委員会ということで、各学校の担当の先生をお呼びしまして推進委員会を開催しているところでございます。

続いて、安全安心な学校づくりの推進ということで、今年度は八津田小学校の建てかえの設計を現在行っております。今年度中に設計が出来上がる予定でございますので、予定通りいけば来年度、再来年度で建てかえの工事に入るようになるかと思っております。

また、ほかに地震のときのブロック塀の倒壊等という事故がございましたので、フェンスの新設工事を椎田小、八津田小、葛城小、築城小、下城井小、椎田中の6校において、今年度工事を予定にしており、もう入札も終わりました、業者も決まって、今後その新設の工事に入るようになっております。

学校教育の主な取り組みでございますが、時間の関係もございまして、この程度で終わりたいと思います。

また、資料でございますが、資料の10ページには、10月1日現在の町立小中学校の児童生

徒数の一覧、また、11、12ページには本教育会議の設置要綱を添付しておりますので、また後ほどでもご覧いただければと思います。

続いて、生涯学習課のほうからの報告をお願いいたします。

○社会教育の取組について

○生涯学習課長補佐（尾座本 三雄君）

生涯学習課課長補佐の尾座本です。私のほうから、昨年度から変更になった点を中心に説明をさせていただきたいと思います。

まず、資料の6ページをお願いいたします。まず、重点施策としまして、(2)の地域教育力の向上ということで、⑩番、パラリンピックキャンプ地の誘致を目指すということで、こちらのほうを追加させていただいております。これに基づきまして、後ほど取り組みのほうで説明していきます調印式関係のほうが発生してくるということで、オリンピックとパラリンピック、そして聖火リレーを中心に重点の施策をやっていく予定になっております。

続きまして、7ページの2ですね。平成31年度主要施策と取り組みということで、(1)各種スポーツ大会、教室の開催の充実ということで、こちらのほう④番学校との連携ということで、その1番最後になりますけれども、オリンピックパラリンピック事業をとおり国際感覚を育む体験を提供するというので、こちらのほう昨年を引き続きまして、オリンピックの事前キャンプに4つの小学校、そしてことしはパラリンピックの関係で事前交流というのがありましたので、そちらのほうで1つの小学校で選手が学校を訪問し、児童との交流を行っております。

また、ホストタウンの登録の4市町の取り組みとしまして、内閣官房の事業でグアムとの交流ということで、グアムと遠隔会議システムを使った現地の中学生と4市町の中学生が同じ授業を行うといった取り組み。こちら海洋プラスチックごみに対しての合同授業ということをやっております。また、その続きとしまして、4市町の代表者によるグアムへの訪問を予定をしております。

今後も、内閣府の事業等を活用したオリンピックパラリンピック関連の交流について計画のほうをしております。

続きまして、その下、(2)オリンピックキャンプ地の推進というところで、③番、キャンプ地活動を契機にオリンピックや国際交流等に対し、町民の機運を高める事業を展開するというので、こちらのほう聖火リレーのほうが来年の5月の13日に築上町を出発するというので、今決まっております。その取り組みを含め、来年のオリンピック、パラリンピック、そして聖火リレー、この3つを中心に町のほうで盛り上げていこうという事業を計画していく予定となっております。

そして、8ページをお願いいたします。(3)パラリンピックキャンプの誘致に向けた取り組みということで、こちらのほうが本年8月30日に共生社会ホストタウンに登録がされて、パラリンピックのキャンプの受け入れのほうをやっていくということで、進んでおります。同じく、今年度9月の11日から12日において、パプアニューギニア、フィジー、バヌアツからパラ陸上の選手が本町を訪れまして、交流のほうをしております。そして、引き続き13日には、東京においてオセアニアパラリンピック委員会、そして福岡県、築上町の3者において、事前キャンプと交流についての基本合意の調印を行っております。

今後は、パラリンピックの事前キャンプを契機としました共生社会に向けた取り組みに力を入れていきたいというふうに考えております。

ほかは、文化関係につきましては、高尾参事のほうから説明をさせていただきたいと思っております。

○生涯学習課参事(高尾 栄市君)

高尾です。8ページの(7)の今年度の文化財の保護及び歴史観光振興の推進についてということで、通常調査研究、あと保護事業に加えて、②の船迫窯跡公園では、展示会とか体験学習会を行っております。展示会につきましては、今秋、ちょうど今開催中ですが、戦争の時代展ということで戦争をテーマにした展示をやって、かなりのお客さんが来ております。一昨日は戦争遺跡を巡るということで、町内と行橋、築城基地周辺の史跡の見学会をしました。

もう1つ、大きな文化財としまして、旧蔵内邸がございまして、先般教育委員の皆さまにお配りした旧蔵内邸保存活用基本計画を昨年度策定しましたので、それにのっかって今年度、来年度から保存活用の事業を展開していくというふうになっております。旧蔵内邸では、現在、あしたまでですが、金唐革紙の展示会を実施して、10月にはワークショップをしております。1月からは恒例のひなまつりの展示会を開催する予定でおります。

⑤その他の推進ということで、今年度、昨年度の後半から実施しております中津街道保存活用検討委員会ということで、湊を中心とした中津街道を今後もっとピーアールしようということで、委員会を昨年度立ち上げて、今年度活用の計画立案、ピーアールなどについての協議を行っております。

それと、ここには書かれていないんですけど、一昨年度からの再編交付金の基金を積み上げまして、それで文化財を活用した事業を大きく展開しております。今年度は6月の2日に先般亡くなりましたけど、佐藤しのぶさんのコンサートを実施して大変大きな反響がありました。あと、基金事業で今年度後半には生涯学習とも連携してインバウンドの関係で5か国語で蔵内邸のパンフレットを今製作するところで、今、見積もり入札の準備をしているところです。

以上です。

○町長(新川 久三君)

ただいま両課から取り組みについての説明がありました。何か質問はないでしょうか。

○町長（新川 久三君）

中学生の数が椎中は増えているよね。このあと、この小学校が繰り上がっていけば、大体同じくらいの数値になる。まあ、小学校1年生はちょっと少ない。椎田中1年生が増えたっていう要因何かわかる、1年生。

○学校教育課長（野正 修司君）

今年度、椎中ですね。指定校変更で、築城中学校区の児童が何人か椎中のほうに移ったというのが一部あります。

○町長（新川 久三君）

築城の校区から椎中のほうに。それと、よそに行くのが少なくなったとかそれはない。

○学校教育課長（野正 修司君）

それも何人かいるはずです。

○町長（新川 久三君）

だから、それが少なくなって、例えば北九州方面に行くという中学生が少なくなったとか。

○学校教育課長（野正 修司君）

そこまで詳しく調べてございません。済みません。

○町長（新川 久三君）

何か多くなっているけど。ずっと、小学校は1年生が少ないよね。あと、2年生、3年生、4年生までは大体现状維持でいけるよね。来年度の入る人数把握している。

○学校教育課長（野正 修司君）

推計はしているんですけど、今回の資料にはつけておりませんが。

○町長（新川 久三君）

把握している。

○学校教育課長（野正 修司君）

担当のほうは把握しております。

○町長（新川 久三君）

何かございませんか。なければ、次の項目にいきますよ。いいですか。

その他、意見交換、築上町教育行政について。これなら皆さん、ざっくばらんに何でもいいんで。学校の建て替え整備、金かかるんで、大変なんだけど、先ほどちょっと話したように、椎中と小中一貫ってというのはどうなりますか。ちょっといきなり話出したんだけど。どうせ建てるなら一緒に。椎田小学校傷んでおると、そんな提言を受けて。ちょっと頭に入れて小学校に行ったとき、ちょっと見てもらって、次の課題にしましょうかね、これね。何かそういう提言をされたから、

ちょっと検討はしましよとは答えている。

○委員（中村 ひろ子君）

ちょっと質問よろしいですか、中村ですけれども。建物の耐久年数っていうのがあるじゃないですか。それって40年、60年ですか。

○学校教育課長（野正 修司君）

以前の防衛省の補助でいけば、鉄筋コンクリート造は60年あるはずなんです、確か。

○委員（中村 ひろ子君）

で、椎田小学校は何年なんですか。

○学校教育課長（野正 修司君）

昭和40年代後半ぐらい。

○学校管理係長（出口 厚志君）

まだ60年までは経っていません。

○委員（中村 ひろ子君）

ですよ。では、椎田中学校は。

○町長（新川 久三君）

椎田中学校も45年ぐらい。45、6年。

○委員（中村 ひろ子君）

じゃあ、どちらも40年超えですね。ありがとうございました。

○町長（新川 久三君）

どこも一緒ぐらいよな。

○学校教育課長（野正 修司君）

大体昭和40年代の後半から昭和50年代にかけて建てていると思います。

○町長（新川 久三君）

耐震強度が弱いのは、椎田中学校と八津田小学校がもうこれは基準に満たなかった。あとのところは、耐震工事やったわけよね。あとは、僕は内装だけでいいかなと思っておったら、いや、傷んでる提言があったんで。この際、小中一貫の検討もしてもらったらどうかという提言を受けたんで。

それと、もう1ついい。築城中学校の小学校の利用っていうのはどれぐらいある。

○学校教育課長（野正 修司君）

利用っていうのは。

○町長（新川 久三君）

いや、小中一貫で、中学校に行って、いろいろ交流やりますよとかそういう方針を立てている

はず。

○学校教育課長（野正 修司君）

小学校が築城中に行ってしまうことですね。

○町長（新川 久三君）

それはないやろ。

○学校教育課長（野正 修司君）

調べてみないと、即答はできません。

○町長（新川 久三君）

だから、一応それも小中一貫というか、築上町はその方針でいきますという形で方針出しとる。小中の交流という形の中で、中学校に行つて勉強する機会もつくりますと。それ1つまた課題として。

○学校教育課長（野正 修司君）

はっきり私が掴んでいないだけで、実際に行き来はやっていることもあろうかと思うんですね、

○町長（新川 久三君）

そこもちょっと調べてみて。あんまりやっていないんじゃないかなと思うけどね、基本的には。

○学校教育課長（野正 修司君）

音楽会とか何かなかったっけ。

○指導主事（山下 忠昭君）

ありません。あれはソピアです。

○教育長（久保 ひろみ君）

私が発言してもよろしいですか。

○町長（新川 久三君）

どうぞ、はい。

○教育長（久保 ひろみ君）

その小中一貫というのは、非常に効果的ではないかなというふうに思います。それはなぜかという、やはりここでも見られるように、小学校6年生が中学校で若干減っているところがある。それはやはり他の学校とかに行けるということがあるんだと思うんですね。小中一貫にすることによって、子どもたちの育ちを9年間で見えていくこともできるということ。そして、中1になると、中1ギャップということになかなかついていけない子が出てくる。そういうギャップを解消するという意味でも効果的なことだと思いますので、今後十分検討していつて、今まだ小学校、中学校それぞれの経営方針で進められているところがありますので、十分こういう意見を聞きながら、将来的にどういふふうに進めていつたらいいのかということも、検討させていただ

ければありがたいなというふうに思っております。

○町長（新川 久三君）

やっているところに勉強に行くっていうことね。小中一貫でやっているところに勉強に行く。そして、築上町はみやこ町みたいに小中一貫にしないという方針で、交流はやると。これで確か築城中学校を建てるときのコンセプトでいった。小学生が中学に行って勉強すると、交流するというそういうのがあったんで、そのところをちょっと。築城中学校については、活発化してほしい。それで交流の場のスペースをとっているはず。

○委員（麥田 猛美君）

いいですか。

○町長（新川 久三君）

どうぞ。

○委員（麥田 猛美君）

麥田です。突然話が出たから、今、意見を言えって言われても、意見が出にくいんですね。当然、実施しているところのメリットデメリットとかも聞かないかんし、さっき言われたように視察も要るだろうし。何年か計画で考えないと、すぐにもあしたにもできそうな雰囲気では話を進めたら困る。

○町長（新川 久三君）

いやいや、そうじゃない。今から検討しますということで、築上町人権・「同和」教育研究会からの提案でね、椎田中学についてもと。まあ、築城の分は一応そういう交流はやるという形でやっておるもので、それは実施してもらいたいということです。

○委員（麥田 猛美君）

もう1つ質問していいですか。それをこの組織でやっていくということですか。

○町長（新川 久三君）

そうですね。ここが主体にならなきゃ、もういわゆる実施するのは教育委員会、それで総合会議の中で私が少し提案をしていくという考え方もできると思うんで。今まで全く提案できなかった。今まで予算をつけるだけで、そして、支出命令をするのは教育委員会の仕事だったというけど、この会ができてから、少し私の考え方も述べていいというふうになったんで。だから、今の分は、今から検討という形で。よそを見に行ってもいいと思う。みやこは来年からやろ。開校するって言いよったよね。

○教育長（久保 ひろみ君）

小学校の統廃合、犀川地区に関しては来年度やりますが、まだ中学校のほうがまだです。1つ、伊良原学園だけが小学校、中学校と同じ建物で伊良原学園という形でスタートしています。

○町長（新川 久三君）

数が多いところに視察に行かなければね。やっぱりやっているところを調べて、それも研修に行こう。いいところ、悪いところ出てくる。多分小規模校でもいいところ、悪いところあるのはある、実際。あと、何かないですか。

○委員（中村 ひろ子君）

中村です。一貫校の件でお尋ねしてもいいですか。今、町長さんおっしゃった一貫校というのは椎中と椎小のみを考えていらっしゃったんですかね。それとも、椎中校区……

○町長（新川 久三君）

それは僕はというよりも、築上町人権・「同和」教育研究会のほうから提案があつて検討しましょうと。そのときに椎中を建てかえるなら、椎小は一緒にという提言があつたんで。

○委員（中村 ひろ子君）

みやこ町の場合は、1中にして、1小に統合して中学校を全部そこに持ってくるというような大きな考え方されていますので、築上町の場合は、どのような考えなのかなということをお尋ねしたくて。

○町長（新川 久三君）

一応、まだ僕もそういう方針じゃないということで、今から検討しましょうという形で築上町人権・「同和」教育研究会の皆さんの提言に対して。先週確か来て……

○学校教育課長（野正 修司君）

教育委員会にもみえました。

○町長（新川 久三君）

聞いたよね。

○学校教育課長（野正 修司君）

はい。教育長は公務で不在でしたので、私と古市課長で話は聞いております。

○町長（新川 久三君）

そういう話があつたろう。

○学校教育課長（野正 修司君）

若干ありました。

○町長（新川 久三君）

だから、それを検討しましょうということで。いやだ、むげにできませんとかいうわけにいかんし、検討しましょうという話をして。いいところがあればやってもいいし、今のうちのやり方のほうが一応築上町に合っているという形になれば、今のままでもいいし。

○委員（中村 ひろ子君）

ありがとうございました。

○町長（新川 久三君）

何かない。なければ、中国の話せんでいい。

○学校教育課長（野正 修司君）

それ日程とか用意しているので、私のほうから報告させていただきます。中国訪問の件でございます。11月20日の日から3泊4日の予定で中国の訪問いたします。それで、今回からは1校新しく訪問する学校が増えておまして、竹鎮中日友好小学校と薛埠中心小学というところに行っていたのに加え河頭中心小学。さんずいの河ですね。河に頭という漢字ですね。その1校が新たにふえております。この3校を訪問する予定になっております。それで、児童は22名参加しますので、あと学校の校長初め職員等がおりますので、町長以下総勢32名になります。

○町長（新川 久三君）

きょう100歳のお祝いに行ってきたら抽選に外れた、残念って言いよった。ひ孫が、100歳のおばあちゃんが。行きたかったけれど、抽選にもれたって。そのうち2人やろ、定員は。

○学校教育課長（野正 修司君） 椎田小、築城小以外はたしか2人の割り当てだったと思います。

○町長（新川 久三君）

もれたって言って。だから、中学校になったらグアムと交流するかわからないという話を今進めているんで、またそこで、ちょっとグアムの話も。これは尾座本君かな。

○生涯学習課長補佐（尾座本 三雄君）

いや、私のほうは今内閣官房の事業がオリンピックが……

○町長（新川 久三君）

いやいや、だけど、それが関連で、そのグアムと一応姉妹校当たりを結ぼうかと、それは課長じゃないとわからないか。

○生涯学習課長補佐（尾座本 三雄君） そうですね。そこはちょっとまた担当が。

○町長（新川 久三君） 課長がある程度積極的にやろうということで、いいよということで。一応ひょっとしたら来年度グアムと交流できる可能性があるんで。英語圏もという1つの考え方ももってますんで、中学生にしたらどうだろうかというふうなことで。近いうちに行くんじゃないかな。

○生涯学習課長補佐（尾座本 三雄君） 企画のほうで調整は。日程についてはちょっと聞いていない。

○町長（新川 久三君） オリンピック関連でという形で位置付けしているから。一応キャンプが

